

第 6 5 回視覚探索研究会（春期合宿）

プログラム

日程：3月15日（金）～17日（日）

場所：熱海 志ほみや

静岡県熱海市春日町1の2

0557-81-3651

J R 熱海駅より徒歩数分

「熱海スターレーン（ボーリング場）」隣

費用：2万5千円程度

発表に際しては、液晶プロジェクター + PC が使用できます。Macintosh を用意いたします。その際の PowerPoint などのファイルは CD-R などでお持ちいただくか、前々日までに幹事宛にメールで送付してください。MO を希望される場合は、前もってご連絡いただきますようお願いいたします。（どなたからもご希望がない場合には、MO 装置は用意しません。）また、それ以外の方は、各自で PC をご持参ください。合宿の参加人数は 17 名です。

車で来られる方は、台数チェックのため、お手数ですが菅沼までご連絡ください（すでにご連絡いただいた方は結構です）。地図（旅館のパンフレットのコピー）をお送りします。

発表時間は、発表内容・希望により、2 パターンあります。名前の前の記号で区別しています。発表の目安としてご確認ください。

30 分（発表 20 分、質疑 10 分）

60 分（発表 45 分、質疑 15 分）

各セッションごとに記された時間は発表時間の合計ではなく、会議室の予約時間です。

セッション 1

3/15 20:00～24:00

熊田孝恒（産総研）

Intelligence and the frontal lobe: The organization of Goal-directed behavior.
Duncan, J., Emslie, H., and Williams, P. (1996). Cognitive Psychology, 30, 257-303.

河原純一郎（広大）

「多重標的法での見落としと注意の瞬き」

Shapiro(Ed.)の本(The Limits of Attention)の第 1 章 , 第 5 章のまとめ
三重課題法による実験について

千葉保世（東大）

「文字種・位置・オブジェクトに関する反復の見落としの検討」

日比優子（東大）

「課題切り替えにおける反応特性の検討」

セッション 2

3/16 9:00～12:00

伊丸岡俊秀（阪大・通総研）

「認知過程と arousal level(と aging)-」

Hasher, L., Zacks, RT., and May, CP. 1999 Inhibitory Control, Circadian Arousal,
and Age. in Attention and Performance XVII. 653-675

May and Hasher 1998 Synchrony Effects in Inhibitory Control Over Thought and
Action. JEP: HPP, 24 (2), 363-379

Lavie N. 2001 Capacity Limits in Selective Attention: Behavioral Evidence and
Implication for Neural Activity. in Visual Attention and Cortical Circuits. 49-68 のごく
一部 (aging のところ)

武田裕司（産総研）

「視覚探索における復帰抑制の加齢効果」

小川洋和（関学）

Peterson, M. S., & Kramer, A. F. (2001). Attentional guidance of the eyes by contextual information and abrupt onset. *Perception & Psychophysics*, 63(7), 1239-1249.

Jiang, Y., & Chun, M. M. (2001). Selective attention modulates implicit learning. *The Quarterly Journal of Experimental Psychology*, 54A(4), 1105-1124.

小野史典（広大）

「視覚的印付けと文脈手がかり」

セッション 3

3/16 15:00～18:00

横澤一彦（東大）

「高次視覚における統合実験環境と

シミュレーション・モデルの構築に関する研究」

菅沼睦（東大）

「MOT に関する最近の動向」

Scholl, B. J., Pylyshyn, Z. W., & Feldman, J. (2001). What is a visual object? Evidence from target merging in multiple object tracking. *Cognition*, 80(1-2), 159-177.

Viswanathan, L., & Mingolla, E. (in press). Attention in depth: Disparity and occlusion cues facilitate multi-element visual tracking. *Perception*.

河西哲子（産総研）

「オブジェクトベースの注意効果：

ランダムドットステレオグラムを使った検討」

実吉綾子（上智）

「物体構成部品のカテゴリカル空間関係情報が

物体表現に果たす役割について」

セッション 4

3/16 20:00～24:00

齋木潤（京大）

Freeman, E., Sagi, D., & Driver, J. (2001). Lateral interactions between targets and flankers in low-level vision depend on attention to the flankers. *Nature Neuroscience*, 4, 1032-1036.

福井基文（富士ゼロックス）

「事象関連電位による視覚的注意の検討」

山岡憲一郎（上智）

「半側空間無視に関するレビュー」

坂本佳陽（東大）

「Houghton & Tipper の選択的注意モデルについて」

Houghton & Tipper (1994). A model of inhibitory mechanisms in selective attention. In Dagenbach & Carr(Eds.), *Inhibitory processes in attention, memory, and language*. Academic Press.

Houghton, Tipper, Weaver, & Shore(1996). Inhibition and Interference in Selective Attention: Some Tests of a Neural Network Model. *Visual Cognition*(2) 119-164

他

川津茂生（国際武道大）

Baylis & Driver (2001). Perception of symmetry and repetition within and across visual shapes: Part-descriptions and object-based attention. *Visual Cognition*, 8, 163-196